

1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

教員免許課程の各年次における目標

1 年次

- ・ 教職の意義と役割、教員の職務内容、教職を取り巻く問題等について考察し、自己の教育観を確立する力を身に付ける。
- ・ 音感、リズム感、和声感、読譜力等の音楽基礎能力に加え、合唱、ピアノ演奏、和声の基礎を修得するとともに、西洋音楽と日本音楽に関する理解を深める。
- ・ ICTリテラシーの基礎的な知識とスキルを修得する。
- ・ 身体的・精神的な諸問題について知的理解を深め、身体運動を通して心身の健康管理能力を高める。

2 年次

- ・ 教育の理念と目的、日本の教育の歴史と教育制度、家庭や地域社会の教育的役割、教育に関する諸問題等について理解し、自己の教育観を確立するための知識を身に付ける。
- ・ 心身の発達や学習の過程についての理解をはじめ、教育活動の場で活用できる知見を広げる。
- ・ 音楽科の授業や部活動の指導に必要な楽器やコード理論、キーボード・ハーモニー理論、伴奏法等の基礎知識と技能、日本の伝統的な歌唱法、和楽器の奏法を身に付けるとともに、世界の諸民族音楽の歴史や特徴等を理解し、広い視野と豊かな音楽的感性を身に付ける。
- ・ 英語によるコミュニケーションのための基礎的能力、音楽や芸術全般に関する語彙や表現を修得し、実践的運用能力を身に付ける。
- ・ 日本国憲法の基礎知識を修得する。

3 年次

- ・ 特別活動の意義と目的を理解し、ホームルーム活動、生徒会活動等の指導および進路指導や教育相談における指導の進め方等、実践に必要な能力を高める。
- ・ 学習指導要領、学習評価、学習指導計画、教科指導について理解するとともに、教育実習に必要な学習指導案の作成方法、道德教育の指導に関する実践的な力を身に付ける。
- ・ 和声の応用的な技能、作曲・編曲技法の修得に加え、声楽、指揮の基礎を修得する。
- ・ 教科指導における ICT の効果的な活用能力を身に付ける。

4 年次

- ・ 教育実習を通して、教員の業務全般を理解し、教科指導や生徒指導等の実践的な指導力を高める。
- ・ 教員に求められる使命感や教育的愛情、社会性や対人関係能力、生徒理解や学級経営等について理解を深め、教師としての資質を高める。